

「エビデンスに基づく教育活動推進セミナー」実施要項

1 セミナーの趣旨

近年のデジタル化の進展により、蓄積されたスタディ・ログ（個人の学習状況等）やビッグデータ等を活用し、教育の質の向上にむけた取組を進めていくことの必要性が高まっている。その際、経験知の可視化・共有により、教師個人の3K（勘、経験、気合）のみによる教育実践の汎用性・再現性の低さを克服し、教員同士の経験知の円滑な引継ぎを実現することや、「チーム学校」の実現のために、データによって学校の現状を可視化し、取組や目的意識を共有することが重要である。また、社会に開かれた教育の実現に向けて、エビデンスに基づくことによる説明力の向上も求められている。これらのことから、教職員が、エビデンスベースの教育活動の重要性に気付き、それを生かした教育活動を推進していく力を高める必要があるといえる。

そこで、教育データの利活用についての知識を得るとともに、エビデンスに基づいた教育活動の重要性やその実現の方法について理解し、エビデンスに基づいた教育活動推進のための見通しをもつことをねらいとし、本セミナーを実施する。

2 対象者

広島市立園・学校教職員

3 定員

20名程度 ※ 申込先着順で受講者を決定します。

4 講師

広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授 杉田 浩崇

安田女子大学 教育学部児童教育学科 准教授 熊井 将太

5 内容

回	日時	会場	内容	講師	指標
1 知る	10月24日（火） 13:30～16:45 （13:00 受付開始）	教育センター	エビデンス概論	杉田浩崇	10
			エビデンスに基づく教育活動の実際	熊井将太	29
2 やって みる	11月21日（火） 13:30～16:45 （13:00 受付開始）	各所属園・校 （オンライン双方向）	エビデンスに基づく自校の教育活動推進計画の作成	杉田浩崇 熊井将太	29 31
3 振り返る	2月20日（火） 13:30～16:45 （13:00 受付開始）	教育センター	振り返りと今後の展望	杉田浩崇 熊井将太	30 31